

第6回

インフラ メンテナンス大賞 募集開始

- **教育・文化・スポーツ施設**における取組・工夫も対象です
- 文教施設等の分野について、施設の長寿命化に関する優れた取組を募集しています

受賞すると、ベストプラクティスとして広く紹介されます。周囲のインフラメンテナンスに対する理解の深化が期待されるとともに、関係する方々の励みにもなり、職場に連帯感が生まれます。

表彰対象	以下の各部門において、日本国内のインフラメンテナンスに係る優れた効果・実績を挙げた取組や技術開発を行った者（個人及び施設管理者・企業・団体等による活動グループ） ア) メンテナンス実施現場における工夫部門 イ) メンテナンスを支える活動部門 ウ) 技術開発部門
審査方法	有識者による選考委員会にて審査・選出

2022年**5月20日** 締切

エントリーはWEBから

詳しくは…

第6回インフラメンテナンス大賞

検索

昨年度の文部科学大臣賞受賞

【技術開発部門】 大学校舎におけるドローンを活用した 非接触・非破壊点検手法の開発と実装

代表団体名 国立大学法人 金沢大学 施設部

受賞理由

ドローンとAIを用いて自動判定する仕組みは革新性が高く、これまで目視で行ってきた業務を効率化できる。

また、足場架設の必要がないことなどから、コスト縮減効果が大きく期待できる。

大学の施設管理の職員と教員が協働して行ったプロジェクトであり、学術、技術の発展につながることで評価された。



担当

大臣官房文教施設企画・防災部 施設企画課施設マネジメント係
〈 電話 〉 03-5253-4111(代表)(内線4669)



文部科学省